



全国小学校キャリア教育研究協議会通信 vol.7  
キャリア教育を通じた「つながり」から子どもと社会を結ぶ  
発行/編集：全国小学校キャリア教育研究協議会 2018.8.2

台風20号・21号、北海道での大地震の被害に合われた多くの方々にお見舞い申し上げます。1日も早い復旧、通常の日々が送れますことを願っています。

【1】ご挨拶 全国小学校キャリア教育研究協議会 会長 林 久徳

9月も半ばを迎え、どの地域も夏休みを終えた子どもたちの元気な声が学校に響き、運動会の練習や、秋の取組に忙しくされているところではないでしょうか？京都ではすでに、8月27日から2学期が始まっています。

7月・8月には地震、豪雨、台風、異常な暑さと自然の猛威を思い知ったのですがその勢いは9月に入っても収まらず、数十年ぶりの大きな台風が近畿地方に上陸し、京都市では全市一斉休校になりました。関西空港も大きな打撃を受けました。本校の校区のとなりの鞍馬では、倒木のため、まだ、叡山電車が復旧できず、大変不便な生活が続いています。

そんな夏を振り返ってみますと、東京での全国進路指導大会はじめ多くの研修会に参加させていただき、多くの方とお会いし、多くのことを学ばせていた。だいた1か月だったと思います。多くの研修会でAIが話題に上っていました。

そんな中で感じたことを少しお話しさせていただきます。お掃除ロボットが勝手に床をきれいにしてくれたり、高速道路で自動車が勝手に走ってくれたり、わたしたちの生活はどんどん便利になり、人の手をかけなくてもいろんなことができるようになってきています。ほとんどすべての仕事をロボットがやるホテルが九州に開業したこともニュースになっていました。

以前は、人間がやる通りのことを機械が覚えて、その通り動いてくれるので便利になったと感じていました。ところが今の世の中、そして今後、人間と機械との関わりはどのようになっていくのでしょうか。AIという言葉が身近になってきています。AIとは人工知能（じんこうちのう、artificial intelligence）のことです。従来の機械とは違い、言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術です。つまり、今までは人間が教えたとおりにしか動かなかった機械が、それまでのデータの蓄積から次のことを予測したり、次の行動を考えたり、判断したりし、実際動くことができるようになってきているのです。従来いくらコンピュータが発達しても知的ゲームであるチェスや将棋、囲碁などは人間の方が優れていると言われていました。ところが最後の砦と言われた囲碁でさえ世界チャンピオンをAIが圧倒したのです。

「シンギュラリティ」「2045年問題」ということをお聞きになったことがあるでしょうか。以前話題になりました「2011年度にアメリカの小学校に入学した子ども

たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」(キャシー・デビッドソン氏)という話を覚えておられますか。ある意味不安ではあるけれど、新しい職業ってなんだろうと、ちょっと楽しみな気にもなっていました。シンギュラリティとは発達し続けるAIの能力が人間の知能を超えるときがやってくるということです。それがおそらく2045年頃だろうと言われていています。つまり必要な仕事や世の中の働きのほとんどがAIで可能になり、人間はAIを操る一握りの人とAIがやるにはコストがかかりすぎたり、AIがやるほどのことではないことをしたりする人間との両極になってしまうとも言われています。なんかSF映画の世界のようで、非現実的で自分事とはとらえにくいかもしれません。でも考えてみてください、その2045年に社会の中心となって

働く30歳代、40歳代の方は今何歳でしょう。なんとその社会を生きるのが今小学校、中学校に通う子どもたちなのです。こんなことを書き進めているととても不安になるし、恐ろしさも感じます。では、そんな世の中で力を発揮できる人はどんな人なのでしょう。シンギュラリティを研究している学者や教育者が共通して言っていることがあります。それは自分から学ぶ力を持った人です。何かに一生懸命取り組み、考えたり、体当たりで解決したり、やりとげたりした経験を持つ子ほど、追究力や自己肯定感が高くなり、自ら学ぶ子になると考えられます。虫が好きな子、算数が好きな子、歴史が好きな子、バレーボールが好きな子。子どもは様々ですが、何事にもじっくり取り組み、学ぶこと、体験すること、頑張ること、人の役に立つことは、わくわくして楽しいことなんだ、やってよかったという経験をたくさんさせてあげることが大切なのではないでしょうか。

もう少し見る角度を変えてみると、今、わたしたちの目の前にいる子どもたちをどうすれば混沌とした世の中、AIが支配する世の中で対応できる人間に育てられるのかというのではなく、この子たちこそが未来を創るのだ、と考えると少し目の前が明るくなったような気がしました。この夏出席した講演会で言われていました。「夢をあきらめなければ夢はかなう。わくわくすることが大切なんだ。夢を実現させていくのが子どもたちなんだ」と。

## 【2】講演会・研究大会案内

### (1) 岩倉北小学校 公開授業と講演

日時 平成30年10月11日(木) 14時～

場所 京都市立岩倉北小学校1年2組教室

内容 自らの生き方を見つめ、本質的な問いを求める指導方法の改善にむけて  
国語の公開授業

指導と講演 藤田晃之先生(筑波大学教授・元文科省調査官)

※12月の全国大会会場での授業と講演会です

(2) 滋賀県小中学校教育研究会キャリア教育部会 授業研究会

日時 平成30年(2018年)11月2日(金) 13:30より受付

場所 大津市立和邇小学校 (最寄り駅 JR和邇駅徒歩5分)

〒520-0526 滋賀県大津市和邇中190番地

TEL 077-594-0012

内容 公開授業 第6学年 特別の教科 道徳「人の役に立つために」

講義 ナリカ株式会社大阪営業所 主任 田中 完治 様

指導講話 愛荘町立愛知川小学校 校長 上田 仁紀 先生

お問い合わせ 大津市立中央小学校 教頭 山岸 憲明 先生

連絡先: TEL 077-522-4332 FAX 077-522-1782

(3) 平成30年度学力向上フォーラム in 大館

日時 平成30年11月9日(金)・10日(土)

場所 秋田県大館市

内容 小・中学校の授業公開と研修会

学力向上とキャリア教育

詳細 <http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kyokenkyu/11-8651.html>

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/gimukyo>

※12月7日の全国キャリア教育研究 京都大会でシンポジストとしてご参加いただく大館第一中学校、小林校長先生の学校でも公開授業が行われます。

【3】講演会・研究大会の報告

(1)「第67回 進路指導・キャリア教育研究協議全国大会」

日時 7月26日(木)・27日(金)

場所 東京 国立オリンピック記念青少年総合センター

主題 新学習指導要領に向けた進路指導・キャリア教育の一層の推進を目指して

<報告>

開会式では以下の方々が舞台上に上がられごあいさつや表彰が行われました。

日本進路指導協会会長 鈴木正人様

日本進路指導協会常務理事 萩原信一様

全国高等学校進路指導協会会長 吉田寿美様

全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会会長 近江貞之様

日本キャリア教育学会会長 三村隆男様

文部科学省初等中等教育局児童生徒課進路指導調査官 鈴木慰人様

全国小学校キャリア教育研究協議会会長 林 久徳

講演会 文部科学省初頭中等教育局財務課長 合田哲雄様

「日本の教育のグランドデザイン ～新しい学習指導要領への期待」

＊人事異動により財務課にこの春に異動されましたが、それまでは、新学習指導要領作成の中心を担っておられた方だそうで、その御経験からの意味や願いをお話しいただきました。

分科会・研究協議会

7分科会に分かれて実践報告，討議が熱心に行われました。

小学校の研究会より京都府京都市立錦林小学校教諭小糸徹志先生が錦林小学校の地域の伝統に根差した取組をお話しいただき、子どもたちと地域の人との出会いを大切に生活科・総合的な学習の時間についての素晴らしい実践に感嘆の声が上がっていました。

小学校の分科会のもう一つの発表は、埼玉県富士見市立ふじみ野小学校の堀川博基校長先生の発表でした。中学校の教員として、国立教育研究所発行のキャリア教育についての冊子の作成にも関わっておられた先生が、校長として小学校に赴任され、学校づくりの核をキャリア教育において推進しておられる苦労や楽しさをお聞かせいただきました。

2日目は小中学校部会と高校部会に分かれての発表と協議が行われました。ここでは次のような発表が行われました。

「地域と連携・協働しながら、未来の担い手となるために必要な資質、能力を育む実践」 北海道別海町立野付中学校 飯田雄士校長

「未来社会を見据えた『未来の学び』の創造 ～保幼小中を貫くキャリア教育の実践～」 東京都中野区立緑野小学校 駒崎彰一校長

全体研究協議会 シンポジウム

「キャリア教育で、地域を創世する ～社会に開かれた教育課程で強度を支える人材を育成」

コーディネーター 日本進路指導協会理事・調査部長 千葉吉裕氏

シンポジスト 鳴門商工会議所 米田貴明氏

日向市キャリア教育支援センター 水永正憲氏

大変素晴らしい会に出席させていただき、多くの方々との出会い、多くの学びがありました。上記の方々の中で埼玉県富士見市立ふじみ野小学校の堀川博基校長先生と東京都中野区立緑野小学校 駒崎彰一校長には、12月7日（金）京都大会2日目のシンポジストとして御出演いただきます。また、お会いするのを楽しみにしています。

(2) 京都まなびの街生き方探究館開館 10 周年記念事業

日時 8月2日(木) 14:20~17:00

場所 京都まなびの街生き方探究館

「夢をかなえる3つの魔法」という演題で元ディズニーシニアプロデューサー大畠崇央氏による講演が行われました。100名以上の参加者があり、大変盛況でした。大畠氏の話し方も内容も参加者を引き付ける素晴らしい講演会で、子どもたちが将来の夢を叶えるために実践すべきこと、どんな業界に進んでも必要なこととお話ししていただきました。わくわくしながらわくわくして追究することの大切さを講演を聞かせていただきました。

「夢はかなう。夢をあきらめなければ」

【4】第4回全国キャリア教育研究・第1回全国小学校キャリア教育研究協議会

京 都 大 会 案 内

主催 京都大会実行委員会

京都大会の1次案内が全国小学校キャリア教育研究協議会ホームページおよび、京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会ホームページにアップされています。

間もなく申し込みを開始します。今しばらくお待ちください。

会員登録いただいている方、大会を機に登録いただける方は、参加費が大きく異なります。12月6日・7日はぜひ、京都へお越しください。12月6日の夜に会員やメール通信読者の交流会も予定しています。是非ご参加ください。

全国協議会HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

京都研究会HP <https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

前回大会で、参会者の皆様に「つながろう」をテーマに呼びかけ、全国小学校キャリア教育研究協議会が立ち上がりました。今回は「もっとつながろう」「なかまになろう」という思いから、大会2日間のプログラムの中に、参加者相互の交流の時間を設けています。是非大会に参加して、つながりましょう！仲間になりましょう！

【5】書籍紹介

長田徹先生監修

「カリキュラム・マネジメントに挑む」図書文化

教科を横断するキャリア教育、教科と往還する特別活動を柱にPDCAを！

<http://www.toshobunka.co.jp/books/detail.php?isbn=ISBN978-4-8100-8709-3>

カリキュラムマネージメントについての基本的な理解を促す記載や佐賀市立小中

一貫校芙蓉校の実践をもとにわかりやすく述べられています。

## 【6】全国小学校キャリア教育研究協議会登録のお願い

貴都道府県、市町村でキャリア教育に取り組んでおられる小学校の研究会、小学校がありましたら、ぜひ仲間になってください。まだ、研究会組織がない場合は、学校単位、個人で申し込んでいただいても結構です。全国の様々な地域でキャリア教育に取り組んでおられる団体や個人をつなぎ、それぞれの地域の情報、取組の交流や全国大会を開催し、取組の発表の機会を提供します。また、全国大会の開催を希望される地域がありましたらバックアップしたいと考えています。

予定される主な活動内容

- E メール等による情報交流を行います
- 全国研究会ホームページを立ち上げ、情報を発信します
- 全国大会を開催し、研究会員が集える機会を設けます
- 全国大会で各地域の研究発表の場を提供します
- 全国大会を各地で開催し、キャリア教育の普及に寄与します
- その他、必要であれば研修会等で京都や東京の取組の報告を行います

<登録用紙>

<https://portal.kyotocity.ed.jp/cmris/browser?id=workspace//SpacesStore/aae42833-53fb-48bc-995f-53e016bc1e56>

新しくできた全国小学校キャリア教育研究協議会のホームページからも取り出せます

全国組織HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

※会員登録いただいた方、今回の京都大会を機に会員になられた方は、大会参加費が大きく異なりますので、ぜひご登録ください。

## 【7】季刊「進路指導」2018年秋号

公益財団法人日本進路指導協会の機関誌「進路指導」2018年秋号に第4回全国キャリア教育研究・第1回全国小学校キャリア教育研究協議会 京都大会の案内が掲載されています。また、「Q&A」のコーナーでは、小学校のキャリア教育について本研究会副会長の東京都世田谷区立尾山台小学校校長渡部理枝先生が「具体的に小学校でキャリア教育を推進するためには、どのように始めればいいのでしょうか」という問いについてについて、実態把握、実践の2本柱、全体計画・年間指導計画作りの3点をもとにわかりやすくまとめられています。是非ご覧ください。

## 【8】御協力お願い・編集後記

このメールでは研究大会の案内や実践校紹介を掲載しています。今後も、キャリア教育に取り組んでおられる学校の紹介やお寄せいただいた記事の掲載等を行っていきたいと思っています。どしどし情報をお寄せください。また、こちらからもご依頼させていただくこともあると思いますので、お忙しいとは思いますが、ご協力お願いします。

前回メールを発信した時からずいぶん日が経ってしまいました。月1回程度を目指しているのですが、なかなかうまくいきません。そうこうしているうちに、台風の被害もあり遅れに遅れてしまいました。そんな中、全国大会の分科会提案者やシンポジストの方からは、大会冊子に載せる原稿が続々と届いています。あっという間に12月になってしまいそうです。みなさんを京都でしっかりお迎えできるように、岩倉北小学校はじめ京都の研究会員一同しっかり頑張ります。ぜひ、京都へお越しください。

発 行：全国小学校キャリア教育研究協議会

編 集：林 久徳（全国小学校キャリア教育研究協議会

京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会会長）

研究会URL：<https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

会長校：京都市立静原小学校

住 所：〒601-1121 京都市左京区静市静原町1125-1

連絡先：TEL:075-741-2075 FAX:075-741-2094

事務局：京都市立岩倉北小学校

住 所：〒606-0021 京都市左京区岩倉忠在地町5

連絡先：TEL.075-721-5618

事務局長：三浦清孝